

■ 配線法の開発

1. 黎明期の光時代の配線法

黎明期の光時代の配線法として、IP サービスを主体とした今後の光需要を的確に把握する手法、およびサービス初期の散在する需要を経済的で効率的に収容可能な光アクセス設備構築方法を開発しました。

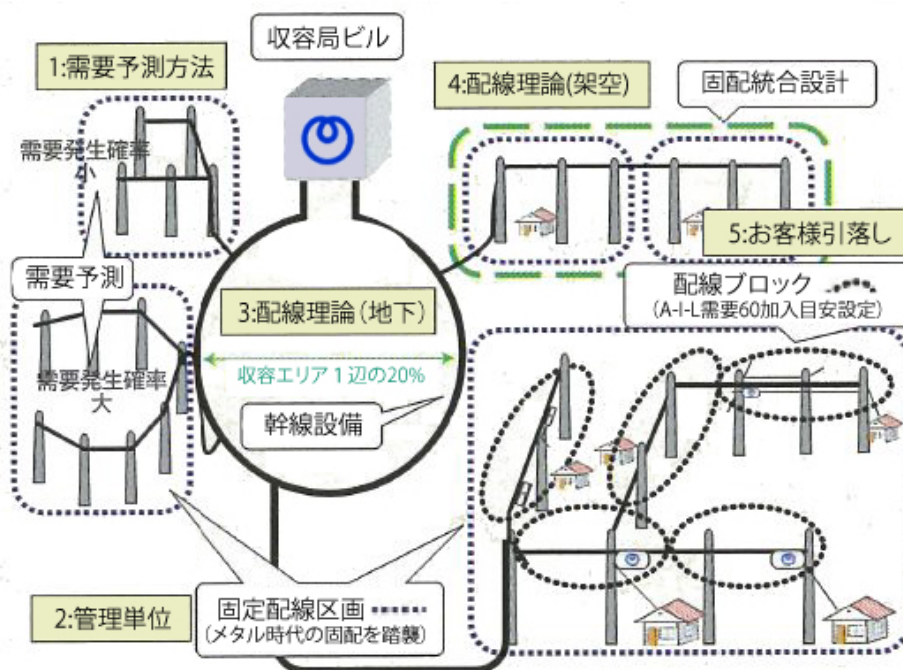


図1 光時代の配線法（黎明期）

2. 架空ケーブルの一束化技術

B フレッツ等の光需要増加に伴う配線系の光展開において、電柱のケーブル架設ポイントの制約を受けず、架設ケーブルの有効利用を可能とする架空ケーブル布設技術として一束化を実現しました。

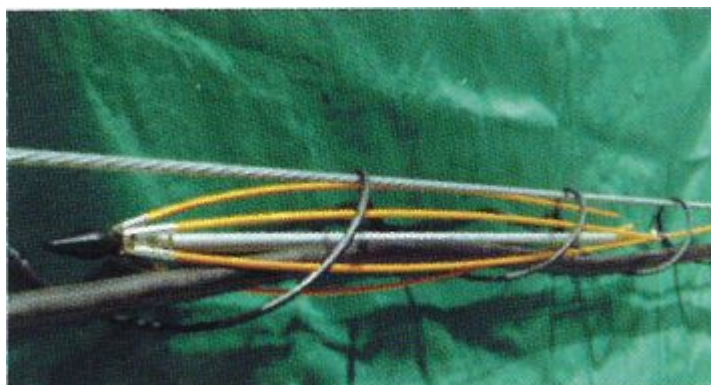


図2 架空ケーブルの一束化技術